

# 大南の軌跡

武蔵村山市立 小中一貫校  
大南学園第七小学校  
学園だより No. 11  
令和3年3月1日

## ウィズコロナの一年、確かな成長の一年

校長 五十嵐 誠一

学校も大きな変化を強いられたウィズコロナの一年でした。しかし、子供たちにとっては、たくましく成長を続けた一年でもありました。

### 七小の看板、6年生

昨年度末から異例続きの中で最上級生となった6年生ですが、本当にしっかりと七小の看板を背負ってくれました。細やかに温かく1年生のお世話をする姿、そして何より教室での穏やかで意欲的な学びの姿。何かと落ち着かない一年の中で無言のうちに後輩たちにお手本を示してくれた今年の6年生でした。

### 読書記録認定 179人！

七小では学年ごとに読書目標が定められていてこれを突破すると読書記録認定証をもらえます。今年度は4、5月の休校にも関わらず、昨年度より大幅に多くの子供たちが読書記録認定を受けました。2月末時点で認定者179人、全校の30%以上の子供たちが読書目標に到達しました。特に1年生の頑張り立派で、ほとんどの子供が記録到達になりました。

### 俳句も全国区！

大南学園伝統の俳句の取り組みはコロナ禍の中でも着実に続けました。今年度は年間で10の俳句大会、コンテストに9619句を出品しました。その中で個人の入賞者は100人を超えました。また、学校としての表彰も3回受賞しました。言葉の感覚を磨き、自然と人の営みを見つめる目を育てる俳句作り。子供たちの心を育てるために欠かせない力となっています。毎年恒例の句集「大南」もまもなく完成してお手元にお届けします。

### 残菜率の低さ、市内トップを争う

各学年の農園活動や食育授業、給食委員会の活躍などで子供たちの食や健康に関する意識は着実に向上しています。今年度は児童ア

ンケートも複数回実施し、児童の変容や成長を確かめながら指導してきました。これらの取り組みの結果は給食の残菜率にも表れます。今年度七小は常に市内でもトップを争う残菜率の低さを維持してきました。

### 毎週、ジャストスタート！

コロナ対応のため、回数は少なくなりましたが、毎週月曜日の朝礼は毎回とても気持ちよくスタートすることができました。開始時間ぴったり、時には開始時間より何分も早く全校の集合が終わります。「静かにしましょう。」の声かけが必要ないのはもちろん、どの学校でもおなじみの「前へならえ」の号令もめったにかからなくなりました。毎週、心も体も準備万端で朝礼がスタートします。実にスマートです。学校で一番大切にしている聴く態度も去年よりさらに上手になっています。

まだまだたくさんあるのですが、こうした子供たちの姿も最初からあったわけではありません。子供たちと教員、保護者・地域の皆様が一年間をかけて作ってきたものと思います。まだ進むべき道はありますが、確かな歩みがあった一年間であったと思います。

異例続きの一年間でしたが無事に学校の教育活動を終えられますことは保護者、地域の皆様の温かい御理解と御支援のおかげと心より感謝をいたします。とりわけ今年度は新型コロナウイルス対応のため、子供たちの健康管理には大変に細やかなお心遣いをいただきました。お陰様で学校の教育活動に大きな滞りもなく一年を終わることができます。重ねてお礼申し上げます。

そして卒業生保護者の皆様には6年間の長きにわたり学校への御支援を賜りました。ありがとうございました。卒業する子供たちがこの世界を支える良き人に成長することを楽しみにしたいと思います。